

D&I（東京・千代田）は障害者の雇用支援事業を展開する。就職を仲介するだけでなく、就職後も定着率向上を図るなどの様々な支援メニューを提供できるのが特徴だ。在宅勤務の活用など新たな働き方の提案にも力を入れている。

人材紹介サービスでは常時250人以上が求職、同約500社からの求人がある。求職者には通常無料でカウンセラーがつき、要望を個別に聞き取った上で就職を仲介している。年間250、300人が就職している。

通常の就職仲介以外に、障害者雇用特有の課題を解決できるサービスも提供する。1つが定着率向上サービス「ワクサポ」だ。障害者には他人との会話が不得手な人も

D & I (千代田区)



在宅勤務で障害者の雇用を促すサービス「エンカク」にも力を入れている

少なくない。企業も障害者の労務管理の経験が乏しいことも多く、「1年間で半分くらい退職してしまつ」（杉本大祐社長）。就職後も同社の担当者が定期的に障害者、人事担当者と面談し、対応策を助言する。

もう1つが在宅勤務での雇用を促す「エンカク」だ。障害者雇用ではラッシュ時の通勤が難しい障害者がいたり、バリアフリーなどの環境が整っていない企業もあつたりすることも課題だ。データ入力など在宅勤務のできる業務を担ってもらうことで、解決することも多い。

同サービスでは在宅勤務のできる業務の切り出し、業務の研修、クラウド

障害者雇用 定着も支援

ドコンピュータインテグを使った勤怠管理システムなどを有料で提供する。杉本社長は「交通費や働くスペースの確保に必要な費用を考えると、通勤型での雇用より低コストになることが多い」と説明する。大手企業を中心に120社が利用する。

杉本社長はベンチャー企業を顧客にしたヘッドハンティング会社を籍時の2005年に新規事業として障害者雇用支援事業を立ち上げた。「同業も少なく『障害者を食い物にするのか』と言われたこともあつた」という。09年に同事業部門を独立させてD&Iを設立した。

従来は首都圏など都市部で事業展開してきたが、電車やバスなどの交通インフラが乏しい地方では、在宅勤務での障害者雇用の需要は大きいとみる。福井県鯖江市や山口県岩国市とは在宅勤務による両市在住の障害者の雇用創出の連携協定を結ぶなど地方での需要開拓に布石を打っている。